

3 出版

【概 要】

歴博では調査・研究活動の成果を広く公開すべく、多様な出版物を編集・刊行している。それらは、大学共同利用機関法人として内外の研究者たちが協同しておこなってきた調査・研究や、博物館における地域との連携などさまざまな活動の成果を、専門家のみならず広く市民に伝える役割を担っている。

2020年度は、研究報告8冊、展示図録2冊、展示小冊子1冊、歴史と文化への好奇心をひらく『REKIHAKU』2冊を刊行した。さらに、国際交流や機構連携研究のプロジェクトの成果として、研究集会やシンポジウムなどの内容をまとめた報告書などを適宜、作成した。

広報連携センター 上野 祥史

【国立歴史民俗博物館研究報告】

桂 藤兵衛・今岡謙太郎・中川 桂

第221集 (2020.10)
[共同研究]
海の生産と信仰・儀礼をめぐる文化体系の日韓比較研究

共同研究の経緯と概要 松田 睦彦
[論文] 明治16年「貿易規制」以前の朝鮮海出漁 松田 睦彦
[論文] 朝鮮植民地期の日本人漁業経営の実態と展開 磯本 宏紀
[論文] 魚、漁業技術、民族習慣 呉晶炫
[研究ノート] 魚屋の店先にみる日韓の魚食文化 島立 理子・李智喜
[研究ノート] 紫紺の海・カツオの海 川島 秀一
[論文] 日韓比較龍宮論覚書 小池 淳一
[研究ノート] 韓国出土木簡にみえる海産物とその加工品 三上 喜孝
[論文] 中世対馬の海民の日韓海域における漁業 関 周一

第222集 (2020.11)
[共同研究]
近世の一枚摺文化の受容と都市社会の研究

共同研究の経緯と概要 神田 由築
[研究ノート] 『懷溜諸屑』収集者の入船扇蔵について 中川 桂
[論文] 引札の様式論的考察 高橋 修
[論文] お竹大日如来と江戸の庶民信仰 高山 慶子
[論文] 錦絵に見る料理茶屋情報 大久保純一
[論文] 江戸住大商人の信仰と「行動文化」論 岩淵 令治
[論文] 近世後期における芝居町絵図の変遷と資料的活用について 西田 亜未
[論文] 江戸の音曲文化 神田 由築
[研究ノート] 座談会「落語家の世界」

第223集 (2021.3)
[共同研究]
中世日本の国際交流における海上交通に関する研究

共同研究の経過と概要 荒木 和憲
[論文]
日宋・日元貿易船の乗員規模 榎本 渉
日宋・日元貿易期における「南島路」と硫黄交易 山内 晋次
元代の海上交通 四日市康博
モンゴル時代における朝中間の海上交流と航路 森平 雅彦
高麗時代の遺跡から出土する中国陶磁器の状況と特徴— 李明玉
韓国出土品を中心として 伊藤 幸司
遣明船と南海路 荒木 和憲
中世日朝通交貿易における船と航海 岡 美穂子
海と権力—宣教師報告に見る畿内=九州移動ルートの分析を手がかりに 『琉球国図』の薩琉航路—『琉球御渡海日記』から考える 渡辺 美季
東アジアの媽祖信仰と日本の船玉神信仰 藤田 明良
船漆喰—近世文書の民俗学的考察 出口 晶子
水中文化遺産研究の可能性 —鷹島海底遺跡の検証を中心に 佐々木蘭貞
[研究ノート] 中世石見国高津川・益田川河口域港湾の基礎的研究 田中 大喜
[資料紹介] 高得宗「弘化閣記」について 米谷 均
[調査研究活動報告] 絵画資料に描かれた中世の船— 『日本絵巻大成』に見える船の画像一覧 小島 道裕

第224集 (2021.3)
[共同研究]
中世文書の様式と機能および国際比較と活用に関する研究

共同研究の概要 小島 道裕
I 日本の古代・中世文書

古代公文書の成立前史—漢字・暦・印・文書様式—

多比羅葉美子

- 円珍の位記・智証大師諡号勅書と唐の告身 仁藤 敦史 [論文] 風景図詩絵プラークの原図と技法について 日高 薫
 中世武家の置文と譲状 丸山裕美子 [論文] 琉球・沖縄の漆芸 宮里 正子
 [研究ノート] 鎌倉北条氏の書状序説 田中 大喜 [論文] 琉球の漆文化と科学分析に関する学際研究
 —北条時政・義時・泰時の書状について— 佐藤 雄基 宮腰 哲雄・本多 貴之・宮里 正子
 [研究ノート] 『宣記』写本考 長村 祥知 [論文] 漆をめぐる民俗的諸問題 小池 淳一
 [研究ノート] 印判状に見られる日付上押印について [研究ノート] 江戸・東京の漆器流通と塗物問屋
 小島 道裕 —一九世紀を中心に— 岩淵 令治

II 東アジアの文書と外交の文書

[研究ノート] 韓国出土の文書木簡

- 「牒」木簡と「前白」木簡を中心に— 三上 喜孝
 [研究ノート] 高麗—朝鮮初期の公文書における押印の位置について 川西 裕也
 韓国古文書におけるサインと身分・性別 朴竣鎬 訳・稲田奈津子
 朝鮮時代の契約文書授受の裏面 —本文記の類型と特徴について— 文叔子 訳・稲田奈津子
 中世日本往復外交文書をめぐる様式論的検討 荒木 和憲

安南日越外交文書の国書について

- 文書様式を中心に— 藤田 励夫
 III 古文書の活用 久貝 弥嗣・栗木 崇
 音声読み上げとフォーラム機能を備えた中世文書オンライン展示システムの開発 橋本 雄太

第225集 (2021.3)

[共同研究]

学際的研究による漆文化史の新構築

- 共同研究の経過と概要 村木 二郎
 基盤研究 [論文] 先島の集落遺跡からみた琉球の帝國的様相 村木 二郎
 「学際的研究による漆文化史の新構築」 日高 薫 [論文] 先島諸島における貿易陶磁の動態とムラの成立に関する課題 池谷 初恵
 [論文] 縄文時代の漆文化とその起源に関する諸問題 池谷 初恵
 —学史的視点から今日的課題へ— 工藤雄一郎 [論文] 喜界島・奄美大島から薩摩・大隅地方の中世遺跡の様相 岩元 康成
 [調査研究活動報告] 縄文時代・続縄文時代の遺跡出土漆製品の¹⁴C年代測定 工藤雄一郎・永嶋 正春 [論文] 『朝鮮王朝実録』にみえる奄美諸島と先島 関 周一
 [論文] 縄文時代の日本列島におけるウルシとクリの植栽と利用 能城 修一・吉川 昌伸・佐々木由香 [研究ノート] 草戸千軒町遺跡におけるビロースクタイブ白磁碗の出土状況 鈴木 康之
 [研究ノート] 掻き傷刺激によるウルシ乳管の増加 栗木 崇
 鈴木 三男・小林 和貴 [論文] 古琉球期王権論—支配理念と「周縁」諸島 荒木 和憲
 [論文] ストロンチウム同位体分析による漆の産地同定 田中 大喜
 吉田 邦夫・佐藤 正教・中井 俊一 [研究ノート] 薩摩千竈氏再考

第227集 (2021.3)

[特定研究]

日本歴史における地域性の総合的研究—古代東国の地域的特性
 千葉県荒海貝塚の発掘調査

- 第1章 序説
 第1節 遺跡の立地と環境
 第2節 発掘調査に至る経緯
 第3節 発掘調査と整理・分析の経過
 第4節 基本層序と縄文土器の分類
 第2章 発掘調査の内容

- 第1節 中央トレンチの発掘調査と出土遺物
- 第2節 南北トレンチの発掘調査と出土遺物
- 第3節 東西トレンチの発掘調査と出土遺物
- 第4節 表面採集品ほか

第3章 自然科学的調査

- 第1節 荒海貝塚周辺低地の地質・層序と環境変遷史
- 第2節 根本名川沖積低地産出の貝化石
- 第3節 荒海貝塚・宝田鳥羽貝塚のプラント・オパール分析と花粉分析
- 第4節 荒海貝塚の植物種子
- 第5節 レプリカ法による土器圧痕の調査
- 第6節 荒海貝塚の貝類
- 第7節 荒海貝塚のヤマトシジミ採取の季節性
- 第8節 荒海貝塚の年代測定

第4章 総括

- 第1節 文化遺物の特徴
- 第2節 狩猟・漁撈活動の特徴
- 第3節 荒海貝塚の人びと

図版

第228集 (2021.3)

〔論文〕大阪通商司と「外圧」の実相

新潟との比較的观点から 青柳 正俊

〔論文〕明治改暦におけるグレゴリオ暦をめぐる問題

日本らしい暦とは何か 下村 育世

〔研究ノート〕「弘仁式」・「貞観式」逸文集成の補訂とその考察附『本朝月令』所引「弘仁式」・「貞観式」「逸文一覧」・「弘仁式」・「貞観式」新出逸文一覧(稿)・「弘仁式貞観式逸文集成目録(稿)」

〔研究ノート〕復祿請願運動にみる旧幕臣の身分をめぐる諸問題 樋口 武彦

〔資料紹介〕道助法親王家五十首の伝本について 田中 穰氏旧蔵典籍古文書所収「建保五十首」の翻刻と簡校

太田 克也

〔資料紹介〕『延喜式』卷三九「正親司」校訂(稿)

小川 宏和

〔資料紹介〕『延喜式』卷十一「太政官」校訂(稿)

神戸 航介

『延喜式』卷十一「太政官」現代語訳(稿)

神戸 航介

〔資料紹介〕『延喜式』卷三九「正親司」現代語訳(稿)

古田 一史

〔資料紹介〕『延喜式』卷十四校訂(稿) 三輪 仁美

〔調査研究活動報告〕典葉寮と『延喜式』卷三七について アレッサンドロ・ポレット

〔調査研究活動報告〕国立歴史民俗博物館総合展示第1室(先史・古代)の新構築事業 2018年度から2019年度活動報告 上 奈穂美・横田 あゆみ

〔調査研究活動報告〕『延喜式』第39卷「正親司」の史料

的価値を英語圏に伝えるために ジェンダー的視点を取り入れて 河合佐知子

〔調査研究活動報告〕鹿児島県宝島大池B・C遺跡の発掘調査

春成 秀爾・設楽 博己・竹中 正巳

〔調査研究活動報告〕スミソニアン研究機構所蔵の幕末日本関係コレクション ペリー・ハリス・遣米使節団

福岡万里子・日高 薫・澤田 和人

〔調査研究活動報告〕米国国立公文書館所蔵万延元年遣米使節関係文書について

横山 伊徳

〔新学術領域研究(研究領域提案型)計画研究B01〕

〔調査研究活動報告2019年度(1)〕

考古学データによるヤボネシア人の歴史の解明

藤尾慎一郎・木下 尚子・坂本 稔・瀧上 舞

篠田 謙一・神澤 秀明・角田 恒雄・安達 登

濱田 竜彦・斎藤 成也・清家 章・竹中 正巳

李在煥・朴天秀

横山百合子先生を送る

横山百合子年譜・主要業績目録

〔展示図録〕

ジェンダー『性差の日本史』(2020.10)

『東アジアを駆け抜けたからだ—スポーツの近代—』(2021.1)

『海の帝国琉球—八重山・宮古・奄美からみた中世—』(2021.3)

〔小冊子〕

『第4展示室 特集展示 日本の食の風景—「そとたべ」の伝統一』(2020.9)

〔歴史と文化への好奇心をひらく『REKIHAKU』〕

第1号

〔特集〕されど歴史

REKIHAKUのコンセプト

特集対談 歴史学はこういふときに、何ができるか

木下 尚子×西谷 大

社会的につくられる性別 ジェンダー史研究事始

三上 喜孝

〔コラム〕環境と開発 実は開発されていた「手つかずの大自然」 柴崎 茂光

資料の救済・保存・継承 資料を残し伝えることの意味

天野 真志

〔コラム〕近現代の食文化 食生活の歴史を問い直す

関沢まゆみ

国際共同研究のいま シーボルト父子と一五〇年前の日本
 日高 薫・福岡万里子
 [コラム] 博物館展示のいま 「差別」と多様性をどう
 展示するか 原山 浩介
 くずし字認識システムの開発 AIで歴史・文化を解明する
 橋本 雄太・カラスワット・タリン
 [コラム] 日本の葬送習慣 死者をどう扱う「べき」か
 の前に 土居 浩
 特集をもっと知りたい人へ おすすめの4冊
 たかが歴史、されど歴史 お札になった皇后 近代の女帝像
 仁藤 敦史
 博物館マンガ 第1回 ようこそ！サクラ歴史民俗博物館
 鷹取 ゆう
 石出奈々子のれきはく！探検 第1回 幕府のミスター自
 己主張、高国おじさんのアピール屏風
 フィールド紀行 曳山（ヤマ）に集いて、明日を見つめて
 第1回 輪島市門前町皆月山王祭 川村 清志
 誌上博物館 歴博のイッピン 描かれた都の熱狂 蝶々踊り
 図屏風 大久保純一
 歴史研究フロントライン 偶然の出会いから新たな「知」
 を生み出すそんなプロジェクトがある 後藤 真
 EXHIBITION 歴博への招待状
 企画展示「性差（ジェンダー）の日本史へようこそ！」
 横山百合子
 SPOTLIGHT 若手研究者たちの挑戦
 外国語と人文情報学を武器に 情報技術でつながった近世
 フランス史と古代日本史 小風 綾乃
 くらしの植物苑歳時記 特別企画「伝統の古典菊」「冬の
 華・サザンカ」のご案内
 博物館のある街 北海道白老町 国立アイヌ民族博物館、
 町と人の記憶 立石 信一
 くらしの由来記 石鹼とシャンプーの近現代史
 青木 隆浩
 研究のひとしづく 市のたのしみ 第1回 内田 順子
 海外の日本研究から 海外における日本研究—スイスの
 ケーススタディ ハンス・ビャーネ・トムセン
 歴博友の会 会員募集／歴博ホームページ「どこでもれ
 きはく」リニューアルオープン
 英文目次

第2号
 [特集] いまこそ、東アジア交流史

REKIHAKUのコンセプト
 小さくても多様な交流 名もなき人々の小さな日朝関係
 史
 —瀬戸内漁民の朝鮮海出漁— 松田 睦彦
 [コラム] 流行の裏側で 中国服と近代日本 澤田 和人
 個人から外交をみる 個人を通して見る近代東アジア
 —中国の石炭を日本に売ったイギリス人実業家—
 吉井 文美

[コラム] 多様とは何か「多様性」の問い方—素朴さの
 意義とその向こう側— 原山 浩介
 外交官のある体験 ハリスの素顔—対日交渉を成功させ
 た米国外交官の苦い体験— 福岡万里子
 境界の「曖昧さ」中世の「日本」はどんなカタチをして
 いたのか？ 荒木 和憲
 [コラム] 琉球の国家イメージ 碧い海に引かれた国境
 線—大航海時代と琉球帝国— 村木 二郎
 モノから「人間」へ 古代の刀から「人間」を見る—交
 流史の再構築のために— 金 宇大
 [コラム] ナイブな歴史観を乗り越えながら 朝鮮半
 島の前方後円墳を研究する、ということ 高田 貫太
 特集をもっと知りたい人へ おすすめの5冊
 たかが歴史、されど歴史 江戸の高札から明治の「五榜
 の掲示」へ 久留島 浩
 博物館マンガ 第2回 ようこそ！サクラ歴史民俗博物館
 本物じゃないの！？ 鷹取 ゆう
 石出奈々子のれきはく！探検 第2回 そうだ、すべては
 カップなのだ
 フィールド紀行 曳山（ヤマ）に集いて、明日を見つめ
 て 第2回 輪島市門前町皆月のアマメハギ 川村 清志
 誌上博物館 歴博のイッピン 謎多き古墳時代の遺品 マロ
 塚のヨロイとカブト 上野 祥史
 歴史研究フロントライン 地域に眼る「お宝」を活かし、
 新たな地域像を学問的に裏づけて発信する
 —奥会津只見町・書物の郷の研究拠点 小池 淳一
 特集展示紹介 東アジアを駆け抜けた身体（からだ）—
 スポーツの近代—
 EXHIBITION 歴博への招待状
 特集展示「海の帝国琉球—八重山・宮古・奄美からみた
 中世—」紹介 村木 二郎
 SPOTLIGHT 若手研究者たちの挑戦
 地域民具コレクションを未来になぐ〜新たな資料保存と
 記録の方法の探求〜 川邊 咲子
 歴博デジタルアーカイブ事始め 第1回 国立歴史民俗博
 物館 khirin（キリン） 橋本 雄太
 くらしの植物苑歳時記 特別企画「伝統の桜草」のご案内
 博物館のある街 埼玉県さいたま市岩槻人形博物館
 人形のまちから人形の魅力に迫る 菅原 千華
 くらしの由来記 改元はいつ行われるのか？ 小倉 慈司
 研究のひとしづく 市のたのしみ 第2回 内田 順子
 Kaleidoscope of History A Letter by the King of
 Ryūkyū Preserved in the Documents of the Echizen-
 Shimazu Family 田中 大喜
 歴博友の会 会員募集／歴博の学校利用
 英文目次

[その他]

〔総合資料学の創成と日本歴史文化に関する研究資源の
共同利用基盤構築事業〕

『Japanese and Asian Historical Research in the Digital
Age』

国立歴史民俗博物館編 fulcrum(ミシガン大学出版部)
(2021.3)

〔日本関連在外資料調査研究・活用事業〕

『異文化を伝えた人々Ⅱ—ハインリッヒ・フォン・シー
ボルトの蒐集資料—』国立歴史民俗博物館編(臨川書店)
(2021.3)

〔国際交流事業〕

『ハワイ移民の「もう一つの歴史」を考える』国立歴史
民俗博物館編 非売品 (2021.3)